

社会福祉法人 和楽日会

平成29年度 事業実績報告

平成29年度は、地域の福祉を担う法人・高齢者の介護施設として事業を永続的に実行するため、かつ地域に根差すべく「和楽日会」へと法人名を改称致しました初年度となりました。

平成29年4月に施行されました新社会福祉法に伴いましては、経営組織ガバナンスの強化により、評議員会は諮問機関から議決機関へ変更となりました。また事業運営の透明性の向上が求められ役員報酬基準の公表にかかる規程の整備等、それらにかかる諸手続きや法令に遵守した法人運営を行いました。

また、ここ6年間連続してマイナス介護報酬改定のなか、苦しい経営を強いてきた介護事業所が過去最高の倒産件数になった年と報じられています。こうした悪状況にも負けず経営努力をし、工夫をしてお年寄りの皆様への介護福祉サービスに最善を尽くしてきたこの1年でありました。

以下、本年度の重点計画に定められた事業についての実績を報告致します。

<重点的取組実績について>

1. 記録の電子化による情報の共有と業務の効率化について

平成29年9月から記録の電子化により、介護現場（グループ毎）にタブレットを設置し、介護ソフト（ブルーオーシャンシステム）を導入しました。導入当初は操作に戸惑う職員も見られましたが、慣れてくると記録時間の短縮ができ、業務の効率化が一定程度図ることができました。同時に、記録が部署関わらず、確認することができ情報の共有をしてケアに活かしています。

2. 法人の次世代を担う人材の育成

日頃の職場内教育を中心としていますが、内部研修を開催し、外部研修を受講した職員が講師役となる方法で2ヶ月に1回のペースで実施しました。

また、ケアの質の向上、人材育成を図るための対応策のひとつとして、資格受講資金貸付制度を創設し、資格取得環境を整えました。

3. 地域における公益的な取り組みの実施について

施行されました社会福祉法では、社会福祉法人が地域における公益的な取り組みを義務付けられた事に伴い、茨城県社会福祉法人経営者協議会による「いばらき生活支援事業（就職応援金付職場体験事業施設に登録）」やつくばみらい市社会福祉協議会主催の「社協まつり」等への参加を行いました。

4. ご利用者が安心できる生活環境作り及び施設の経年劣化に伴う設備更新について

平成29年11月に、ご利用者・職員等が安心・安全な生活を送れるように従来型・ユニット型特養及びグループホームに防犯カメラ、駐車場に防犯灯を設置

しました。

また、特養本館では、施設内の美観・感染症予防対策として、平成29年10月にデイサービスと従来型特養の間に間仕切りドアを設置しました。平成30年3月には、特養本館の1階ホール及びデイサービス部分の天井・壁の塗装及びクロス張替工事を実施しました。グループホームでは開設後12年を過ぎ、外壁屋根の塗替え工事を実施しました。適宜設備の修繕を実施し、ご利用者が過ごしやすい生活環境の整備に努めました。

<各ケアサービス事業実績について>

1. 特別養護老人ホームぬくもり荘従来型にかかる事業実績

平成29年9月から記録の電子化（タブレット設置）により、ご利用者の日常生活の全体的な情報が各部署で共有できるようになりました。グループ毎のご利用者の疾患やADL・生活状況等をより深く把握し、リーダーを中心に職員が一丸となり、ご利用者個々に合わせてのケアを提供しました。ご利用者の高齢・重度化に伴い、介護員・看護師・生活相談員等他職種が連携することはもちろんのこと、ご家族とも連絡を密にし、ご利用者が穏やかな生活を送ることができるよう支援しました。

ご利用者のケアプランとその評価もパソコンにて各職員が直接入力することが可能となり、ケアプランへの意識も向上され、日々のケア向上に寄与しています。

荘内・荘外行事は以下のとおり全10回実施し、その他ご利用者のお誕生会やご長寿の祝賀会等を行いました。

◎主な行事等の実績報告

()内は前年度実績数

行事实績 年月日	行事名（場所）	参加 入居者数（人）	職員及び ボランティア数（人）	家族数（人）
平成29年 4月4日	さくらの花見鑑賞 (市さくらやまふれあいの丘)	6 (6)	6 (6)	—
4月上旬	(谷和原公民館)	40 (45)	9 (10)	
5月11日	お食事・ショッピング (ココス・マスダファイズ)	5 (6)	5 (6)	—
6月16日	あやめ鑑賞 (守谷市四季の里公園)	6 (6)	6 (6)	—
6月4日	家族交流会 (施設内)	49 (49)	40 (40)	47 (44)
7月13日	お食事会 (夢庵)	6 (6)	6 (6)	—
8月6日	夏祭り (施設内)	52 (52)	40 (30)	—

9月18日	敬老会（施設内）	50（49）	54（53）	46（54）
10月10日	<u>ドライブ</u> （一言主神社）	<u>4</u> （6）	<u>4</u> （6）	—
12月17日	クリスマス会 （施設内）	52（52）	10（10）	—
平成30年 2月5日	節分（施設内）	50（50）	10（10）	—
合 計	延べ10回実施	320 （327）	190 （183）	93 （98）

◎市別入所利用実績（平成30年3月末）

*合計入所者数 52人（男性10人・女性42人） 平均年齢 86歳
・つくばみらい市 45人・常総市 3人・守谷市 1人
・取手市 1人・つくば市 1人・坂東市 1人

◎看護業務の主な実績報告

ご利用者に対する日々の健康管理・創傷や褥瘡の処置・通院や入院時の付き添い等の業務を実施しました。ご利用者の体調の異変を早期発見し、嘱託医の指示を受けて適切な処置や症状の改善に努めました。

今年度は、胃腸炎の感染者はごくわずかでしたが、インフルエンザが全国的にも大流行したため、感染症対策を講じましたが、従来型特養で延べ10人・グループホームで2人の感染者が出ました。

また、従来型特養ではご家族の希望に沿って2名の看取り介護を行いました。

（ ）内は前年度実績数

① 入居者の定期健康診断等

レントゲン撮影、心電図 平成29年 4月26日 76人（82人）
採血・採尿検査 平成29年 4月26日 77人（82人）
検 便 平成29年 7月31日 75人（77人）
採 血 平成29年10月12日 77人（80人）
インフルエンザ予防接種 平成29年10月14日 91人（86人）

（※インフルエンザ予防接種については、ショートステイ利用者含む）

② 外来通院者 延べ511人（ 372人）
③ 褥瘡処置 3人（ 1人）
④ 入院者 延べ 47人（ 46人）
⑤ 施設看取り 2人（ 2人）
⑥ 永眠 12人（ 14人）

◎給食業務の主な実績報告

ご利用者の高齢・重度化に伴い、副食を常食形態で召し上がれる方が全体の3分の1程度に減少し、その他の方は刻み食・超刻み食・ペースト食となり、調理後の刻み等の対応が大きくなっています。また、嗜好や嚥下能力等を考慮した栄養補助食品を使用し、細かな個人対応を行いました。

夏祭り行事では、選べるおやつを提供や敬老会での祝い膳などご利用者に喜んでいただける行事食提供を実施しました。

() 内は前年度実績数

項 目	朝 食	昼 食 (デイサービスを含む)	夕 食
年間給食数	31,548 (30,260)	37,934 (35,451)	31,621 (30,845)
月間平均給食数	2,629 (2,522)	3,161 (2,954)	2,635 (2,570)
1日平均給食数	86 (83)	104 (97)	86 (85)

※従来型特養及びショートステイ事業での稼働率が安定した為、給食提供数は、前年度対比増となりました。

2. ショートステイにかかる事業実績

本年度は、昨年度に比べサービス稼働率が増加しました。ショートステイの利用傾向として、特養の入所待機の方やご利用者の重度化により、長期に利用を希望する方が増えました。一方、定期的に短期でご利用いただくご利用者が減少傾向にありますが、突発のご利用や緊急時の受け入れ対応にも極力対応してきました。

また、昨年に引き続き平成29年度もユニット型特養空床型短期入所受入も実施し、幅広い対応を心がけました。

平成29年度利用者日数実績 () 内は前年度実績数

項 目	延べ利用人数
平成29年度実績	<u>3,037人</u> (2,848人)
1日平均利用人数	<u>8.3人</u> (7.8人)

3. ユニット型特養にかかる事業実績

平成29年9月に導入しましたブルーオーシャンシステムの24時間シートを活用し、情報入力する事によりニーズを把握し以降のケアに繋げました。記録の電子化により

日々の記録に対する時間が効率化され、寄り添う時間をより多く確保する事が出来ました。

行事に関しましては、利用者が職員と一緒に活動する参加型を多く実施する事により、日常とは違う楽しみ・役割を感じて頂きました。

設えの面では、玄関やリビング等に時期に合った飾り付けをして四季を感じられる空間を作り、家庭的で居心地の良い場所を目指しました。

◎主な行事等の実績報告

() 内は前年度実績数

行事実績 年 月 日	行事名	参加 入居者数 (人)	職員及びボランティア数 (人)	家族数 (人)
平成29年 4月28日	いちご狩り (下妻市)	3 (4)	5 (4)	—
5月26日	観光 (あみアウトレット・牛久大仏)	4 (3)	4 (4)	—
6月 4日	家族交流会 (施設内)	29 (29)	12 (12)	41 (26)
7月28日	荘内パーティーおやつ作り (施設内)	30 (29)	9 (10)	1 (1)
8月26日	夏祭り～すいか割り・かき氷 (施設内)	26 (29)	8 (10)	2 (0)
9月18日	敬老会 (施設内)	29 (29)	21 (18)	39 (26)
10月31日	ハロウィンパーティー (施設内)	30 (29)	8 (10)	—
12月24日	クリスマス会 (施設内)	24 (26)	7 (8)	—
平成29年 1月 1日	書き初め (施設内)	9 (0)	9 (0)	—
2月 3日	節分 (施設内)	29 (28)	9 (6)	—
合 計	延べ10回実施	213 (206)	92 (82)	83 (53)

上記の行事の他、米寿祝賀会を実施しました。

◎市別入所利用実績 (平成30年3月末)

*合計入所者数 30人 (男性10人・女性20人) 平均年齢 86歳

・つくばみらい市 26人 ・守谷市 3人 ・取手市 1人

4. デイサービスセンターにかかる事業実績

本年度は、前年度に比べて年間利用人数が微増となりましたが、平成30年に入り、体調を崩される方が多く、月別の利用人数は減少となりました。平成30年3月に関しては、施設内のインフルエンザの影響によりショートステイの代替利用を頂き、在宅生活の継続に資するよう対応致しました。

サービス内容に関しましては、ご利用様が楽しんで利用できるように、月間予定表に沿って、創作活動・体操・カラオケなど工夫して行ってきました。また、創作活動で作成した作品を飾り、明るい雰囲気を作るようにしました。

◎主な実利用人数等実績

()内は前年度実績数

年 月	運営日数	延べ 利用人数	1日平均 利用人数	主な行事
平成29年 4月	25日(26)	440(391)	17.6(15.0)	お花見&食事会8回 (あけぼの山公園)
5月	27日(26)	430(380)	15.9(14.6)	おやつ作り(どら焼き)
6月	26日(26)	402(391)	15.4(15.0)	アヤメ観賞8回 (守谷市四季の里公園)
7月	26日(26)	396(386)	15.2(14.8)	おやつ作り(お好み焼き)
8月	27日(27)	419(417)	15.5(15.4)	夏祭り4回(施設内)
9月	26日(26)	436(423)	16.7(16.3)	敬老会 おやつ作り 米寿祝賀会1回
10月	26日(26)	428(438)	16.4(16.8)	ショッピング・食事会8回 (イオンタウン守谷)
11月	26日(26)	413(394)	15.8(15.1)	おやつ作り(クレープ) 米寿祝賀会1回
12月	26日(26)	424(426)	16.3(16.3)	クリスマス&忘年会2回
平成30年 1月	24日(24)	365(394)	15.2(16.4)	書き初め おやつ作り(ミニピザ)
2月	24日(24)	363(405)	15.1(16.8)	節分3回

3月	27日(27)	457(462)	16.9(17.1)	花見4回
合計	310日 (310)	4,973 (4,907)	16.0 (15.8)	*予防通所・総合事業 利用者人数含む

◎平成30年3月末現在の登録人数 ()内は前年度実績数

	通所介護	介護予防 (要支援)	合計(人)
男性	8(8)	1(2)	9(10)
女性	30(32)	3(2)	33(34)
計	38(40)	4(4)	42(44)

◎平成30年3月末現在の要介護度別人数 合計42名 ()内は前年度実績数

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数	2(1)	2(3)	12(10)	11(12)	9(12)	6(5)	0(1)

5. 居宅介護支援事業所にかかる事業実績

ご利用者・ご家族等の介護相談及びケアプランの作成を行い、在宅介護利用者の生活支援を実施しました。つくばみらい市や他市町村の委託にて要介護認定調査を併せて実施しました。ご利用者が施設への入所や永眠等の関係で前年度に比べ要介護ケアプラン作成は減少しましたが、要支援の受入れは増加しています。

また、主任ケアマネージャーを中心に地域包括支援センターによる地域ケア会議及び医療連携の研修に積極的参加しました。

(単位：件数) ()内は前年度実績数

年月	要介護 ケアプラン作成	要支援 ケアプラン作成	認定調査件数
平成29年4月	86(89)	11(11)	9(14)
5月	88(88)	10(9)	9(10)
6月	87(87)	13(8)	11(7)
7月	86(90)	14(8)	11(12)
8月	84(91)	10(8)	12(6)
9月	85(91)	14(9)	5(13)
10月	81(90)	11(9)	5(8)
11月	82(89)	12(10)	6(7)

12月	85 (93)	13 (10)	5 (12)
平成30年1月	83 (91)	15 (10)	5 (10)
2月	86 (86)	13 (11)	5 (10)
3月	86 (87)	12 (10)	6 (9)
月平均	<u>84.9</u> (89.3)	<u>12.3</u> (9.4)	<u>7.4</u> (9.8)

6. グループホーム（認知症対応型共同生活介護事業）にかかる事業実績

日々の生活のなかでお食事の手伝いや後片付け・洗濯物干しなど、その方の状況に合わせてできる事を支援しました。入居ユニットはもとより、他ユニットへも行き来し、ホールや居室で会話を楽しんだり、合同で行事を行う等なじみの関係づくりにも力を入れました。尚、主治医やご家族との連携を密にし、体調管理に努めました。

行事及び地域交流等については、下表のとおりご家族参加型の行事等を含め延べ13行事行いました。尚、伊奈特別支援学校とは、今までの交流を主とした形から、実習に変更しご利用者との関わり合いをもっています。

その他、毎月ドライブや移動販売による買い物、傾聴・歌のボランティア等地域の方々をお招きし、ご利用者が楽しめる、気分転換を図ることができる機会を設けました。

◎主な行事の実績報告

() 内は前年度実績数

行事实績 年 月 日	行事名 (場所)	参加 入居者数 (人)	職員及びボラン ティア数 (人)	家族数 (人)
平成29年 4月 1日	公園散策 (つくばみらい市)	12 (15)	7 (7)	—
5月 8・9日 11・12日	いちご狩り (下妻市)	12 (9)	9 (8)	14 (10)
6月 8・9日	立浪部屋見学 (つくばみらい市)	16 (16)	6 (9)	—
7月 7日	七夕 (施設内)	18 (0)	4 (0)	—
8月 11日	花火観賞会 (施設内)	15 (18)	4 (6)	3 (11)
9月 22日	敬老会 (ふたばランド子ども園との交流)	18 (16)	54 (56)	—

10月16日 26・30・31日	小張小学校との交流(施設内) 食事会(守谷市)	17(17) 13(12)	15(22) 9(10)	— 13(11)
11月19日	運動会(施設内)	18(17)	4(6)	—
12月24日	クリスマス会・忘年会 (施設内)	16(18)	4(8)	—
平成30年1月30日	新年会(施設内)	18(18)	6(6)	—
2月5日	節分(施設内)	17(16)	6(4)	—
3月3日	ひな祭り(施設内)	17(0)	4(0)	—
合計	延べ13行事 実施	207 (172)	132 (142)	30 (32)

◎市別入所利用実績(平成30年3月末)

・つくばみらい市のみ 18人(男性3人・女性15人) 平均年齢 87.7歳

7. 地域包括支援センター(ブランチ型)にかかる事業実績

つくばみらい市地域包括支援センターのブランチ委託は従来どおり業務を受け、相談業務等を実施しました。本年度についても各機関と連携を図り、相談者の状況に応じ対応しました。月1回のブランチ会議へ参加し、各地区担当との連携強化・情報共有を実施。高齢者世帯と独居世帯の実態把握訪問を行いました。相談件数については、平成28年度に比べ減少しましたが、1件当たりの相談時間が長いケース等多岐に渡ることが多い相談内容となりました。

認知症サポーター養成講座や社協まつりの参加を通して、地域貢献・交流の機会を持つことができました。

地域支援事業の「生活支援体制整備事業」の協議体作りの勉強会に参加しました。

実際担当地区ごとに分かれ、小絹地区担当として本格的に稼働し始め、地域ニーズと社会資源の情報収集に努めました。

◎主な相談活動(受付・対応)の実績 ()内は前年度実績数

相談項目	受付件数	対応件数
電話	72(100)	226(506)

訪 問	1 0 (1 2)	2 0 3 (2 7 6)
来 荘	3 (1 0)	2 1 (2 7)
文 書等	0 (6)	1 5 (8 5)
その他	2 (1)	4 (1 7)
合 計	8 7 (1 2 9)	4 6 9 (9 1 1)

◎相談内容別件数

相談内容	件数
1. 権利擁護	0 (1)
2. サービス利用	7 (2 4)
3. 認知症	1 2 (5)
4 精神	1 (4)
5. 高齢者の家族	0 (1)
6. 介護	6 0 (8 3)
7. 虐待	0 (1)
8. 医療	1 1 (3)
9. 所得・生活	2 2 (1 8)
1 0. その他	0 (6)
合計	1 1 3 (1 4 6)

◎実態把握訪問<高齢世帯・独居>件数 6 0 件

◎月平均訪問件数 2 2 件

8. 各委員会及び会議の運営にかかる事業実績

(1) 運営委員会

定例として毎月第4水曜日に開催をしました。各部署の事業、行事などの連絡、施設運営にかかる話し合いを各部門所属長中心に実施しました。委員会終了後は議事録を掲示し、一般職員への周知に努めました。

(2) 苦情解決対応委員会（法定）

平成29年10月25日に開催しました。規程の一部改正や新委員として当法人監事を第三者委員に委嘱しました。委員会では、接遇に関する事など対応時に発生した苦情3件の状況、経過、改善の報告をしました。第三者委員の助言をいただき、改善対策の方法や職員指導を行いました。具体的には、苦情対応・改善対策を共有できるように各部署に回覧し、周知方法の変更を致しました。

(3) 入所検討委員会（法定）

3ヶ月毎の第2金曜日に実施を致しました。入所を申込されているご家族から、必要に応じて状況を聞き取りし資料に反映しています。調査項目については分析・点数化を図り、入所検討委員会の審議を経て順位表を決定しています。構成員は第三者委員3名、行政より市介護福祉課課長1名、当法人理事長、施設長、看護課長、介護課長、相談員2名、経理主任の11名となっています。

〈入所検討対象者数〉

第1回	平成29年	4月14日	36名
第2回		7月14日	43名
第3回		10月13日	45名
第4回	平成30年	1月12日	37名様

の順位を決定しました。

(4) 感染症対策委員会（法定）

本年度も施設長、看護師が中心となって特に冬期の11月から3月を強化期間として重点的に開催しました。平成29年11月には、感染症の基礎知識・予防対策等の内部研修を計2回実施し、職員への教育も継続的に取り組みました。本年度も委員会で審議・決定した対策事項を励行しました。平成30年2～3月にかけて延べ12人のご利用者がインフルエンザに感染してしまいましたが、臨時の委員会を開き、対策を強化して終息する事ができました。

(5) グループホーム運営推進会議（法定）

本年度についても奇数月の第4水曜日、合計6回実施しました。年間行事予定及び実施報告、事故にかかる報告、ご利用者のケアにかかるサービスなどの内容に対する要望及び希望ご意見について、活発な意見交換が実施されました。

(6) 防災委員会（法定）

委員会は毎月1回定例開催し、訓練等を計画に沿って実施しました。具体的な活動としましては、消防署の協力を得て、年2回の総合訓練を行いました。その他平成29年10月に、不審者等に対する防犯対策について、常総警察署員の方より講話を頂きました。

(7) 衛生委員会（法定）

毎月年間計画に沿って、安全衛生についての討議を行いました。主には腰痛予防対策・メンタルヘルス等の資料等配布し、職員への啓蒙活動を行いました。

年2回実施する職員の健康診断では、産業医であるきぬ医師会病院の対馬医師に健康診断の結果を確認してもらいました。

尚、ストレスチェックについては、平成29年8月に職員を対象として実施し

ました。

(8) 食生活委員会

月1回開催し、各委員からの意見を聴取し、安全で美味しい食事を提供できるように努めました。昼食の汁物に関しては、みそ汁を好まれる方が多いため、提供回数を増やしました。

また、最期まで経口摂取していただけるよう、ご利用者・看護師・介護員の意見を基に、ご利用者に合うような食材を取り入れ、調理法を検討・実施し、その後の様子を委員会で確認しました。

(9) 機関紙「ぬくもりほ一む」編集委員会

平成29年4月・8月・12月の年3回発行しました。ご利用者の普段の様子や行事、施設の取り組みを理解して頂くように工夫しています。

また、情報開示が求められている現在、前年度の決算報告などを行い、ご家族・来訪者・行政関係団体・福祉、医療、保健の関係諸機関に送付し、情報提供を図りました。

(10) 身体拘束・虐待防止委員会（法定）

原則2ヵ月に1回及び必要に応じて臨時に開催をしました。身体拘束を行わずにケアする方法を考えたうえで、やむを得ず安全のため必要な場合にはその方法等委員会で検討しました。該当ご利用者は従来型・ユニット型特養合わせて2名程の状態ですが、解除に向けての討議を重ねています。

(11) 研修委員会

計6回の荘内研修を行い、外部研修で得た根拠のある知識を報告する伝達研修を基本にしました。研修を通じて学びを深め「心身の状況に応じた介護」をご利用者へ提供できる事を目標に各自がスキルアップを図りました。

(12) リスクマネジメント委員会

2ヶ月毎に1回開催しました。記録の電子化（パソコン）導入により、報告書の様式・記入方法が一部変更となりました。各部署事故報告の集計結果を報告し、事故原因の分析を行いました。また、重大な事故につながりそうなケースについては、早急に安全・再発防止対策がとれる様事故再発ミーティングを実施し、委員会で確認し全部署共有するようにしました。

(13) ケア会議

従来型・ユニット型特養及びデイサービスやグループホーム毎に定例として

毎月1回開催し、ケアにかかる総合的な観点に目を向けながら、個々のご利用者に対するケア状況の見直しや環境の整備及び施設ケア方針に沿っての討議を職員が共同して行いました。

(14) 看取り対応会議

ご利用者及びご家族が看取りを希望され、嘱託医が診断された時点にて看取り介護が開始しますが、本年度については全4回実施し2名の看取り介護を行いました。ご本人の状態・経過の確認や最期までできる限り快適に過ごせる方法を考え実施しました。また、夜間帯における介護・看護職の対応方法・手順の確認を行い、日々のケアで実施しました。

9. 研修に関する活動実績

施設外研修は、以下のとおりでした。

部 門	研 修 名
(特養) 事務員	特別養護老人ホーム経営セミナー 社会福祉法人経営改善支援研修 社会福祉法人会計講習 働く女性応援セミナー
(居宅) 介護支援専門員	主任介護支援専門員研修 平成30年度介護保険・介護報酬改定にかかる研修
(給食) 管理栄養士・調理師	6ブロック合同研修 茨城県栄養士会福祉専門研究会 食中毒・感染症にかかる研修
(医務) 看護師	感染症予防対策研修 嚥下摂取にかかる研修
(特養) 介護職員	社会福祉施設職員対象防火防災研修 業務改善手法研修 ユニットリーダー養成研修 アンガーマネジメント研修 リスクマネジメント研修 キャリアアップ支援研修 社会福祉施設等新任職員研修
(特養) 生活相談員	福祉施設相談員研修 個別ケア・ケアプランにかかる研修

(デイサービス) 生活相談員	安全運転管理者講習 カウンセリング研修 リハビリテーション研修
(グループホーム) 介護職員	アクティビティワーカー養成研修 感染症予防対策研修

以 上